

HUMAN RELATIONS
oliver

第41期 **報告書**

平成18年10月21日～19年10月20日



目 次

| | |
|--------------------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| 事業の概況 | 2 |
| 会社の概況 | 5 |
| 連結貸借対照表 | 8 |
| 連結損益計算書 | 9 |
| 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| 貸借対照表 | 14 |
| 損益計算書 | 15 |
| 株主資本等変動計算書 | 16 |

株主の皆様へ

ごあいさつ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び
申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび当社は第 41 期事業年度（平成 18 年 10
月 21 日から平成 19 年 10 月 20 日まで）を終了いた
しましたので、次のとおり事業の経過およびその
成果と主要項目についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご指導
とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 20 年 1 月

代表取締役社長

大川博美

事業の概況

〔平成18年10月21日から
平成19年10月20日まで〕

事業の経過およびその成果

当連結会計年度のわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資も引き続き増加しており、緩やかながら回復基調で推移しました。一方でサブプライムローン問題に起因する米国経済の減速懸念や、為替動向、原油価格の高騰などの影響による、不透明感も強まってまいりました。

このような経営環境のもと、当社グループは企業価値向上のため利益体質の強化を図るべく、今後の成長が見込まれる市場に向けた機能性、独自性の高い商品の開発や、快適空間を創造し提案する顧客指向型ビジネスを積極的に提供してまいりました。また、グループをあげて、コンプライアンスの徹底、遵守を図ってまいりました。

この結果、当期の連結売上高は22,735百万円（前期比0.6%増）となりました。利益面では、引き続き経営資源の選択と集中による経営効率を高めるとともに、コスト構造を見直し、更なる経費の削減に取り組んだ結果、連結経常利益は2,670百万円（同8.5%増）、連結当期純利益は1,405百万円（同25.5%増）となりました。

主なセグメント別には以下のとおりであります。

<家具・インテリア事業>

家具・インテリア事業につきましては、市場別営業を強化するとの観点から、より専門性を高めた提案型営業と海外調達を拡大し、コスト競争力のある商品開発に努めました結果、売上高は20,127百万円となりました。

部門別では、オフィスインテリア部門につきましては、OEM商品の充実、環境適応商品の開発に努めました結果、売上高は4,757百万円となりました。店舗インテリア部門は一部外食産業の新規出店の抑制がありましたが、海外調達品の拡大によるコスト競争力の強化と、新たな販売チャンネルの開拓に努めました結果、売上高は5,208百万円となりました。施設インテリア部門は医療福祉、温浴、ホテル市場が好調な中で、北欧家具、国産オリジナル家具等の各種施設向商品を充実させるとともに、営業をきめ細かく展開しました結果、売上高は6,986百万円となりました。ホームインテリア部門は取扱商品や販売先を見直した結果、売上高は1,379百万円となりました。

<放送・通信事業>

放送業界は本格的なデジタル化時代を迎え、コンテンツ(放送内容)の充実が求められています。

このような環境の中で、放送事業におきましては、地域密着の番組編成や情報放送の充実に引き続き注力しましたほか、新たなサービスとしてデジタル放送「シンプルコース」、録画のできる「楽録コース」を開始するなど、利用者の利便性向上に努めました。

一方、通信事業におきましては、FTTHによる「光インターネット」による高速で安定したサービスを開始しました。また迷惑メールの排除対策などの利便性、安全性対策を充実いたしました。このような施策に加え、デジタル契約拡大の営業活動に注力した結果、売上高は2,599百万円となりました。

当連結会計年度における売上高は、次のとおりであります。

| 事業別 | 売上高 | 前年同期比 |
|------------|---------|-------|
| | 百万円 | % |
| 家具・インテリア事業 | 20,127 | 100.2 |
| オフィスインテリア | (4,757) | |
| 店舗インテリア | (5,208) | |
| 施設インテリア | (6,986) | |
| ホームインテリア | (1,379) | |
| 機器・その他 | (1,794) | |
| 放送・通信事業 | 2,599 | 103.8 |
| その他の事業 | 8 | 110.2 |
| 計 | 22,735 | 100.6 |

設備投資等の状況

当連結会計年度において実施いたしました設備投資等の総額は186百万円で、その主なものは放送・通信事業に係るものであります。

財産および損益の状況の推移

① 企業集団の直前3事業年度の財産および損益の状況

| 区分 | 第38期 (平成16年10月期) | 第39期 (平成17年10月期) | 第40期 (平成18年10月期) | 第41期 (当連結会計年度) (平成19年10月期) |
|---------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------------------|
| 売上高(百万円) | 18,628 | 21,193 | 22,588 | 22,735 |
| 当期純利益(百万円) | 941 | 1,125 | 1,120 | 1,405 |
| 1株当たり当期純利益(円) | 65.60 | 80.29 | 85.72 | 109.44 |
| 総資産(百万円) | 27,814 | 30,685 | 32,253 | 32,193 |
| 純資産(百万円) | 17,118 | 19,019 | 21,618 | 22,111 |

(注) 1. 1株当たり当期純利益は自己株式数控除後の期中平均発行済株式数に基づいて算出しております。

2. 第40期から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

上記表中「純資産」に関しては、第39期までは資本の部の合計金額を、第40期以降は純資産の部の合計金額を記載しております。

② 当社の営業成績および財産の状況の推移

| 区分 | 第38期 (平成16年10月期) | 第39期 (平成17年10月期) | 第40期 (平成18年10月期) | 第41期 (平成19年10月期) |
|---------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 売上高(百万円) | 18,416 | 18,834 | 19,995 | 20,128 |
| 当期純利益(百万円) | 900 | 1,040 | 1,005 | 1,287 |
| 1株当たり当期純利益(円) | 62.64 | 74.59 | 76.95 | 100.23 |
| 総資産(百万円) | 24,826 | 27,362 | 28,831 | 28,646 |
| 純資産(百万円) | 16,910 | 18,713 | 19,529 | 19,665 |

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は自己株式数控除後の期中平均発行済株式数に基づいて算出しております。
2. 第40期から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。
- 上記表中「純資産」に関しては、第39期までは資本の部の合計金額を、第40期以降は純資産の部の合計金額を記載しております。

対処すべき課題

① 事業の再構築

今後の事業展開におきましては、下記3点に重点を置きながら成長育成分野に積極的に経営資源の投入を図り、経営全般にわたり引き続きリストラクチャリングを展開して資本効率の向上に努め、収益性の高い企業体質を目指し、経営の改革を行ってまいります。

- ア) 市場性のある商品開発
- イ) 国内外の調達力強化と品質向上
- ウ) 新市場の開発と営業力強化

② 人材の育成と内部統制の徹底

当社グループでは、最大の経営資源は人材であると認識しております。お客様のインテリア空間に対する要望が高度化している昨今、経営者・従業員の家具・インテリアに関する専門知識の向上やより良いサービスの提供は、効率的な業務運営を行う上で重要な課題であると認識しております。

今後も教育研修体制を充実し、人材の育成に努めてまいりますとともに、より高度な内部統制の体制を構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

会社の概況 (平成19年10月20日現在)

設 立 昭和42年12月21日

事業内容 総合インテリア製造・販売

資本金 63億6,249万8,520円

営業所および工場

本 店 愛知県岡崎市
支 店 札幌、仙台、北関東、東京、静岡、名古屋、大阪、中四国、福岡
営業所 青森、盛岡、郡山、宇都宮、新潟、高崎、つくば、さいたま、千葉
 立川、横浜、長野、浜松、金沢、京都、神戸、岡山、広島、高松
 北九州、熊本、鹿児島
工 場 豊橋

海外拠点

アメリカ オリバーアメリカ・インターナショナル INC.
 ニュージーランド オリバーファーム・ニュージーランド LTD.

株式の状況

発行済株式総数 12,976,053株 (自己株式 186,511株を含む。)
 株主数 762名

○所有数別状況

| 区 分 | 株 主 数 | 株主数比率 | 株 式 数 | 株式数比率 |
|----------|-----------------|------------------|-------------------------|-------------------|
| 100 単元以上 | 24 ^名 | 3.1 [%] | 10,048,508 ^株 | 77.4 [%] |
| 10 単元以上 | 78 | 10.2 | 2,322,758 | 17.9 |
| 1 単元以上 | 311 | 40.8 | 554,046 | 4.2 |
| 1 単元未満 | 349 | 45.8 | 50,741 | 0.4 |
| 合 計 | 762 | 100.0 | 12,976,053 | 100.0 |

○所有者別状況

| 区 分 | 株 主 数 | 株主数比率 | 株 式 数 | 株式数比率 |
|---------|------------------|-------------------|------------------------|-------------------|
| 個 人 | 600 ^名 | 78.7 [%] | 3,082,252 ^株 | 23.7 [%] |
| 金 融 機 関 | 22 | 2.9 | 3,534,322 | 27.2 |
| その他国内法人 | 139 | 18.2 | 6,358,479 | 49.0 |
| 外 国 人 | 1 | 0.1 | 1,000 | 0.0 |
| 合 計 | 762 | 100.0 | 12,976,053 | 100.0 |

○地域別分布状況

| 区 分 | 株 主 数 | 株主数比率 | 株 式 数 | 株式数比率 |
|-------|---------|-----------|----------------|-----------|
| 関 東 | 92 名 | 12.1 % | 3,411,790 株 | 26.3 % |
| 中 部 | 570 | 74.8 | 8,975,242 | 69.1 |
| 近 畿 | 60 | 7.9 | 439,362 | 3.4 |
| その他国内 | 39 | 5.1 | 148,659 | 1.2 |
| 外 国 | 1 | 0.1 | 1,000 | 0.0 |
| 合 計 | 762 | 100.0 | 12,976,053 | 100.0 |

○大株主(上位10名)

| 株 主 名 | 当社への出資状況 | |
|---------------|-------------|-----------|
| | 持 株 数 | 議決権比率 |
| 大 川 株 式 会 社 | 3,710 千株 | 29.2 % |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 639 | 5.0 |
| 株式会社みずほ銀行 | 618 | 4.9 |
| 糸 眞 一 | 453 | 3.6 |
| 株式会社三井住友銀行 | 435 | 3.4 |
| オリバー取引先持株会 | 426 | 3.4 |
| 大 川 三 千 代 | 319 | 2.5 |
| 大 川 淳 子 | 318 | 2.5 |
| オリバー社員持株会 | 294 | 2.3 |
| 豊田通商株式会社 | 279 | 2.2 |

従業員の状態

| 従 業 員 数 | | 前期末比増減 | 平均年 齢 | 平均勤続年数 |
|---------|----------|----------|-----------|-----------|
| 男 性 | 285 名 | 10 名増 | 36.2 歳 | 11.3 年 |
| 女 性 | 89 名 | 8 名増 | 32.3 歳 | 7.5 年 |
| 合 計 | 374 名 | 18 名増 | 35.3 歳 | 10.3 年 |

企業結合の状況

①重要な子会社の状況

| 会 社 名 | 資本金 | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容 |
|-----------------------------|--------------|-----------|----------|
| ミクスネットワーク株式会社 | 2,233 百万円 | 40.6 % | 有線テレビ放送業 |
| オリバーファーム ・ニュージーランド LTD. | 199 | 100.0 | 牧場経営 |
| オリバーアメリカ ・インターナショナル INC. | 196 | 100.0 | 家具輸出業 |

②その他

当社の連結子会社は上記の3社であります。当連結会計年度の売上高は22,735百万円、当期純利益は1,405百万円となりました。

役員 (平成20年1月18日現在)

| | | | |
|---------|------|--------|------|
| 代表取締役社長 | 大川博美 | 取締役副社長 | 中根研吉 |
| 専務取締役 | 村上周一 | 常務取締役 | 大川和昌 |
| 常務取締役 | 福岡博之 | 取締役 | 黒屋洋明 |
| 取締役 | 下畑光一 | 取締役 | 岸邊均 |
| 常勤監査役 | 菅原一信 | 監査役 | 神尾英雄 |
| 監査役 | 大島俊明 | 監査役 | 内田安彦 |

(注) 1. 平成19年10月22日開催の取締役会において、取締役福岡博之氏は常務取締役に選定され就任いたしました。

2. 監査役神尾英雄氏および監査役内田安彦氏は、社外監査役であります。

連結貸借対照表

(平成19年10月20日現在)

(単位：千円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|------------------|-------------------|--------------------------|-------------------|
| (資 産 の 部) | | (負 債 の 部) | |
| 流 動 資 産 | 14,862,369 | 流 動 負 債 | 8,589,731 |
| 現金及び預金 | 7,923,551 | 支払手形及び買掛金 | 5,448,436 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,692,569 | 短期借入金 | 1,500,000 |
| 有価証券 | 260,000 | 一年内返済予定長期借入金 | 105,800 |
| 棚卸資産 | 555,715 | 未払法人税等 | 561,557 |
| 繰延税金資産 | 178,353 | 賞与引当金 | 267,210 |
| その他 | 275,114 | 役員賞与引当金 | 71,750 |
| 貸倒引当金 | △ 22,935 | その他 | 634,977 |
| 固 定 資 産 | 17,331,491 | 固 定 負 債 | 1,492,929 |
| 有形固定資産 | 7,852,362 | 長期借入金 | 578,000 |
| 建物及び構築物 | 4,334,287 | 退職給付引当金 | 11,245 |
| 土地 | 3,009,914 | 繰延税金負債 | 838,948 |
| その他 | 508,159 | その他 | 64,736 |
| 無形固定資産 | 61,322 | 負 債 合 計 | 10,082,661 |
| その他 | 61,322 | (純 資 産 の 部) | |
| 投資その他の資産 | 9,417,807 | 株 主 資 本 | 18,624,152 |
| 投資有価証券 | 6,975,854 | 資本金 | 6,362,498 |
| 保険積立金 | 1,713,265 | 資本剰余金 | 5,401,276 |
| 前払年金費用 | 24,785 | 利益剰余金 | 7,099,984 |
| 繰延税金資産 | 5,870 | 自己株式 | △ 239,607 |
| その他 | 751,982 | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | 1,639,582 |
| 貸倒引当金 | △ 53,952 | その他有価証券評価差額金 | 1,499,408 |
| | | 繰延ヘッジ損益 | 62,806 |
| | | 為替換算調整勘定 | 77,367 |
| | | 少 数 株 主 持 分 | 1,847,463 |
| | | 純 資 産 合 計 | 22,111,199 |
| 資 産 合 計 | 32,193,860 | 負 債 及 び 純 資 産 合 計 | 32,193,860 |

(注)記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

〔平成18年10月21日から〕
〔平成19年10月20日まで〕

(単位：千円)

| 科 目 | 金 | 額 |
|--------------|-----------|------------|
| 売上高 | | 22,735,218 |
| 売上原価 | | 16,045,059 |
| 売上総利益 | | 6,690,159 |
| 販売費及び一般管理費 | | 4,067,625 |
| 営業利益 | | 2,622,533 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 117,255 | |
| 受取配当金 | 70,266 | |
| その他の営業外収益 | 68,024 | 255,547 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 49,572 | |
| 通貨スワップ等評価損 | 65,071 | |
| デリバティブ評価損 | 85,809 | |
| その他の営業外費用 | 6,917 | 207,369 |
| 経常利益 | | 2,670,711 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 220,585 | |
| その他の特別利益 | 4,400 | 224,985 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 3,691 | |
| 投資有価証券売却損 | 23,028 | |
| 投資有価証券評価損 | 12,214 | |
| 会員権評価損 | 4,000 | |
| 役員退職慰労金 | 30,424 | |
| その他の特別損失 | 495 | 73,854 |
| 税金等調整前当期純利益 | | 2,821,841 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,089,820 | |
| 法人税等調整額 | 141,790 | 1,231,610 |
| 少数株主損益 | | 184,369 |
| 当期純利益 | | 1,405,861 |

(注)記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

〔平成18年10月21日から〕
〔平成19年10月20日まで〕

(単位：千円)

| | 株 主 資 本 | | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|----------|------------|
| | 資 本 金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自 己 株 式 | 株主資本合計 |
| 平成18年10月20日残高 | 6,362,498 | 5,401,276 | 6,095,392 | △258,893 | 17,600,274 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | |
| 剰 余 金 の 配 当 | — | — | △206,002 | — | △206,002 |
| 当 期 純 利 益 | — | — | 1,405,861 | — | 1,405,861 |
| 自 己 株 式 の 取 得 | — | — | — | △175,980 | △175,980 |
| 自己株式の処分(消却) | — | — | △195,267 | 195,267 | — |
| 株主資本以外の項目の 期 中 変 動 額 | — | — | — | — | — |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | — | 1,004,591 | 19,286 | 1,023,878 |
| 平成19年10月20日残高 | 6,362,498 | 5,401,276 | 7,099,984 | △239,607 | 18,624,152 |

| | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | | | | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|---------|--------------|----------------|-----------|------------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| 平成18年10月20日残高 | 2,246,478 | 85,068 | 4,287 | 2,335,833 | 1,682,812 | 21,618,920 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | |
| 剰 余 金 の 配 当 | — | — | — | — | — | △206,002 |
| 当 期 純 利 益 | — | — | — | — | — | 1,405,861 |
| 自 己 株 式 の 取 得 | — | — | — | — | — | △175,980 |
| 自己株式の処分(消却) | — | — | — | — | — | — |
| 株主資本以外の項目の 期 中 変 動 額 | △747,069 | △22,262 | 73,080 | △696,251 | 164,651 | △531,599 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | △747,069 | △22,262 | 73,080 | △696,251 | 164,651 | 492,278 |
| 平成19年10月20日残高 | 1,499,408 | 62,806 | 77,367 | 1,639,582 | 1,847,463 | 22,111,199 |

連 結 注 記 表

連結計算書類作成のための基本となる重要な事項に関する注記

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 3社

連結子会社の名称 ミクスネットワーク株式会社

オリバーアメリカ・インターナショナル I N C .

オリバーファーム・ニュージーランド L T D .

2. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、オリバーアメリカ・インターナショナル I N C .、オリバーファーム・ニュージーランド L T D . の決算日は7月31日であり、ミクスネットワーク株式会社の決算日は9月30日であります。

連結子会社の決算日から連結決算日10月20日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

3. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準および評価方法

① 有 価 証 券

その他有価証券

時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの 移動平均法に基づく原価法

② デリバティブ 時価法

③ 棚 卸 資 産

商品・原材料 移動平均法に基づく原価法

製 品 総平均法に基づく原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

建物及び構築物 建物については定率法、ただし平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)については、定額法

構築物は、当社は定率法、国内連結子会社は定額法

また、在外連結子会社は定額法

そ の 他 定率法、ただし国内連結子会社は機械装置については、定額法

また、在外連結子会社は定額法

② 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能

期間(5年)に基づく定額法

(3) 重要な引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
- ③ 役員賞与引当金 役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
- ④ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。
なお、数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により翌連結会計年度から費用処理しております。
また、当社においては、当連結会計年度末における年金資産見込額が、退職給付債務見込額に未認識数理計算上の差異を加減した額を超えておりますので、その超過額を前払年金費用として投資その他の資産に計上しております。

(4) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(5) 重要なヘッジ会計の方法

金利スワップ取引について、特例処理の要件を満たしている場合は特例処理を採用しております。また、通貨スワップ取引、通貨オプション取引および為替予約取引について振当処理の要件を満たしている場合は、振当処理を採用しております。

(6) その他連結計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

4. 連結子会社の資産および負債の評価に関する事項

連結子会社の資産および負債の評価については、全面時価評価法を採用しております。

5. のれんの償却に関する事項

のれんの償却については、5年間で均等償却をしております。

6. 会計処理の変更

固定資産の減価償却方法

当連結会計年度より、平成19年度の法人税法の改正((所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号) および(法人税法施行令の一部を改正する政令 平成19年3月30日 政令第83号))に伴い、平成19年4月1日以降取得の固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

連結貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 5,702,085 千円
2. 連結子会社の一部の有形固定資産について、銀行からの借入金に対し、譲渡担保権設定予約がなされております。

連結株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当連結会計年度の末日における発行済株式の総数
普通株式 12,976,053 株
2. 当連結会計年度中に行った剰余金の配当に関する事項

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------|-------------|-------------|------------|
| 平成19年1月19日 定時株主総会 | 普通株式 | 103,334 | 8.00 | 平成18年10月20日 | 平成19年1月22日 |
| 平成19年6月1日 取締役会 | 普通株式 | 102,667 | 8.00 | 平成19年4月20日 | 平成19年7月3日 |

3. 当連結会計年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

| 決議予定 | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------|-------------|-------------|------------|
| 平成20年1月18日 定時株主総会 | 普通株式 | 102,316 | 8.00 | 平成19年10月20日 | 平成20年1月21日 |

1株当たり情報に関する注記

1. 1株当たり純資産額 1,584円40銭
2. 1株当たり当期純利益 109円44銭

貸借対照表

(平成19年10月20日現在)

(単位：千円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|------------------------|-------------------|--------------------------|-------------------|
| (資 産 の 部) | | (負 債 の 部) | |
| 流 動 資 産 | 12,878,335 | 流 動 負 債 | 7,930,641 |
| 現金及び預金 | 6,312,687 | 支払手形 | 4,001,098 |
| 受取手形 | 2,134,769 | 買掛金 | 1,324,968 |
| 売掛金 | 3,254,437 | 短期借入金 | 1,500,000 |
| 有価証券 | 260,000 | 未払金 | 92,756 |
| 商 品 | 370,555 | 未払消費税等 | 43,388 |
| 製 品 | 28,204 | 未払法人税等 | 416,044 |
| 原 材 料 | 147,090 | 未払費用 | 179,791 |
| 前 渡 金 | 41,566 | 前 受 金 | 40,345 |
| 前 払 費 用 | 12,020 | 預 り 金 | 33,698 |
| 繰延税金資産 | 154,192 | 賞与引当金 | 240,400 |
| 通貨スワップ等 | 50,073 | 役員賞与引当金 | 58,150 |
| そ の 他 | 129,738 | | |
| 貸倒引当金 | △ 17,000 | | |
| 固 定 資 産 | 15,767,843 | 固 定 負 債 | 1,049,694 |
| 有 形 固 定 資 産 | 5,421,579 | 長期借入金 | 200,000 |
| 建 物 | 2,333,656 | 預り保証金 | 10,746 |
| 構 築 物 | 27,410 | 繰延税金負債 | 838,948 |
| 機 械 及 び 装 置 | 3,289 | | |
| 車 両 運 搬 具 | 51,528 | 負 債 合 計 | 8,980,335 |
| 工 具 器 具 備 品 | 109,314 | (純 資 産 の 部) | |
| 土 地 | 2,896,379 | 株 主 資 本 | 18,101,544 |
| 無 形 固 定 資 産 | 22,329 | 資 本 金 | 6,362,498 |
| ソフトウェア | 2,231 | 資 本 剰 余 金 | 5,401,276 |
| 電話加入権 | 20,098 | 資 本 準 備 金 | 5,401,276 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | 10,323,934 | 利 益 剰 余 金 | 6,577,377 |
| 投資有価証券 | 6,700,027 | 利 益 準 備 金 | 192,815 |
| 関係会社株式 | 1,300,906 | その他利益剰余金 | 6,384,561 |
| 出 資 金 | 2,415 | 別 途 積 立 金 | 4,700,000 |
| 破産更生等債権 | 29,602 | 固定資産圧縮積立金 | 9,865 |
| 保 険 積 立 金 | 1,648,646 | 繰越利益剰余金 | 1,674,695 |
| 長期前払費用 | 6,415 | 自 己 株 式 | △ 239,607 |
| 前払年金費用 | 24,785 | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | 1,564,299 |
| 長期預金 | 500,000 | その他有価証券評価差額金 | 1,501,492 |
| 会 員 権 | 100,550 | 繰延ヘッジ損益 | 62,806 |
| そ の 他 | 64,539 | | |
| 貸倒引当金 | △ 53,952 | 純 資 産 合 計 | 19,665,843 |
| 資 産 合 計 | 28,646,179 | 負 債 及 び 純 資 産 合 計 | 28,646,179 |

(注)記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

平成 18 年 10 月 21 日から
平成 19 年 10 月 20 日まで

(単位：千円)

| 科 目 | 金 | 額 |
|-------------------|------------|-------------------|
| 売上高 | | 20,128,330 |
| 売上原価 | | |
| 期首商品棚卸高 | 458,985 | |
| 期首製品棚卸高 | 29,855 | |
| 当期商品仕入高 | 13,404,058 | |
| 当期製品製造原価 | 888,760 | |
| 合 計 | 14,781,661 | |
| 期末商品棚卸高 | 370,555 | |
| 期末製品棚卸高 | 28,204 | |
| 売上総利益 | | 14,382,901 |
| 販売費及び一般管理費 | | 5,745,428 |
| 営業利益 | | 3,727,776 |
| 営業外収益 | | 2,017,652 |
| 受取利息及び配当金 | 176,551 | |
| その他の営業外収益 | 77,417 | |
| 営業外費用 | | 253,969 |
| 支払利息 | 45,736 | |
| 通貨スワップ等評価損 | 65,071 | |
| デリバティブ評価損 | 40,802 | |
| その他の営業外費用 | 6,892 | |
| 経常利益 | | 158,503 |
| 特別利益 | | 2,113,118 |
| 投資有価証券売却益 | 220,585 | |
| その他の特別利益 | 4,400 | |
| 特別損失 | | 224,985 |
| 固定資産処分損 | 3,679 | |
| 投資有価証券売却損 | 23,028 | |
| 投資有価証券評価損 | 12,214 | |
| 会員権評価損 | 4,000 | |
| 役員退職慰労金 | 27,127 | |
| その他の特別損失 | 495 | |
| 税引前当期純利益 | | 70,546 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 839,677 | |
| 法人税等調整額 | 140,351 | |
| 当期純利益 | | 2,267,557 |
| | | 980,028 |
| | | 1,287,529 |

(注)記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

〔平成18年10月21日から〕
〔平成19年10月20日まで〕

(単位：千円)

| | 株 主 資 本 | | | | | | | | |
|----------------------------|-----------|-----------|---------|-----------|---------------|---------------|--------------|----------|-------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | | 利益剰余金 合 計 | 自己株式 | 株主資本 合 計 |
| | | 資本準備金 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | | | | |
| | | | | 別途積立金 | 固定資産 圧縮積立金 | 繰越利益 剰 余 金 | | | |
| 平成18年10月20日残高 | 6,362,498 | 5,401,276 | 192,815 | 4,200,000 | 10,583 | 1,287,718 | 5,691,117 | △258,893 | 17,195,998 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | | | |
| 別途積立金の積立て | — | — | — | 500,000 | — | △500,000 | — | — | — |
| 固定資産圧縮積立金の取崩し | — | — | — | — | △717 | 717 | — | — | — |
| 剰 余 金 の 配 当 | — | — | — | — | — | △103,334 | △103,334 | — | △103,334 |
| 剰余金の配当(中間配当) | — | — | — | — | — | △102,667 | △102,667 | — | △102,667 |
| 当 期 純 利 益 | — | — | — | — | — | 1,287,529 | 1,287,529 | — | 1,287,529 |
| 自 己 株 式 の 取 得 | — | — | — | — | — | — | — | △175,980 | △175,980 |
| 自己株式の処分(消却) | — | — | — | — | — | △195,267 | △195,267 | 195,267 | — |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中変動額(純額) | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 事業年度中の変動額合計 | — | — | — | 500,000 | △717 | 386,977 | 886,259 | 19,286 | 905,545 |
| 平成19年10月20日残高 | 6,362,498 | 5,401,276 | 192,815 | 4,700,000 | 9,865 | 1,674,695 | 6,577,377 | △239,607 | 18,101,544 |

| | 評価・換算差額等 | | | 純資産 合 計 |
|----------------------------|------------------|--------------|----------------|------------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損 益 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 平成18年10月20日残高 | 2,248,349 | 85,068 | 2,333,417 | 19,529,416 |
| 事業年度中の変動額 | | | | |
| 別途積立金の積立て | — | — | — | — |
| 固定資産圧縮積立金の取崩し | — | — | — | — |
| 剰 余 金 の 配 当 | — | — | — | △103,334 |
| 剰余金の配当(中間配当) | — | — | — | △102,667 |
| 当 期 純 利 益 | — | — | — | 1,287,529 |
| 自 己 株 式 の 取 得 | — | — | — | △175,980 |
| 自己株式の処分(消却) | — | — | — | — |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中変動額(純額) | △746,856 | △22,262 | △769,118 | △769,118 |
| 事業年度中の変動額合計 | △746,856 | △22,262 | △769,118 | 136,427 |
| 平成19年10月20日残高 | 1,501,492 | 62,806 | 1,564,299 | 19,665,843 |

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

子会社株式 移動平均法に基づく原価法

 その他有価証券

 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

 時価のないもの 移動平均法に基づく原価法

(2) デリバティブ等の評価基準および評価方法

デリバティブ 時価法

(3) 棚卸資産の評価基準および評価方法

商品・原材料 移動平均法に基づく原価法

製 品 総平均法に基づく原価法

(4) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法

ただし、平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)については、定額法

無形固定資産 自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法

(5) 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員賞与引当金 役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。

なお、数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により翌期から費用処理することとしております。

また、当事業年度末においては、年金資産見込額が、退職給付債務見込額に未認識数理計算上の差異を加減した額を超えておりますので、その超過額を前払年金費用として投資その他の資産に計上しております。

(6) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(7) ヘッジ会計の方法

金利スワップ取引について、特例処理の要件を満たしている場合は特例処理を採用しております。また、通貨スワップ取引、通貨オプション取引および為替予約取引について振当処理の要件を満たしている場合は、振当処理を採用しております。

(8) 消費税等の会計処理方法

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(9) 会計処理の変更

固定資産の減価償却方法

当事業年度より、平成 19 年度の法人税法の改正（(所得税法等の一部を改正する法律 平成 19 年 3 月 30 日 法律第 6 号) および (法人税法施行令の一部を改正する政令 平成 19 年 3 月 30 日 政令第 83 号)）に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降取得の固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

2. 貸借対照表に関する注記

| | |
|--------------------|--------------|
| (1) 関係会社に対する短期金銭債権 | 29 千円 |
| (2) 関係会社に対する短期金銭債務 | 462 千円 |
| (3) 有形固定資産の減価償却累計額 | 3,543,952 千円 |
| (4) 保証債務 | |

ミクスネットワーク株式会社の日本政策投資銀行からの借入金 480,000 千円に対して保証を行っております。

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

| | |
|------------|-----------|
| 売上高 | 1,052 千円 |
| その他の営業取引高 | 6,228 千円 |
| 営業取引以外の取引高 | 33,524 千円 |

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における自己株式の数

| | |
|------|-----------|
| 普通株式 | 186,511 株 |
|------|-----------|

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

| | |
|-------------|---------------------|
| 賞与引当金限度超過額 | 95,919 千円 |
| 貸倒引当金限度超過額 | 9,793 千円 |
| 未払事業税否認 | 33,138 千円 |
| 投資有価証券評価損否認 | 210,341 千円 |
| 減価償却超過額 | 16,185 千円 |
| その他 | <u>66,934 千円</u> |
| 繰延税金資産小計 | 432,311 千円 |
| 評価性引当額 | <u>△ 103,758 千円</u> |
| 繰延税金資産合計 | 328,553 千円 |

繰延税金負債

| | |
|--------------|-----------------------|
| 固定資産圧縮積立金 | △ 22,926 千円 |
| その他有価証券評価差額金 | △ 938,798 千円 |
| 繰延ヘッジ損益 | △ 41,697 千円 |
| 前払年金費用 | <u>△ 9,889 千円</u> |
| 繰延税金負債合計 | <u>△ 1,013,309 千円</u> |
| 繰延税金負債の純額 | <u>△ 684,756 千円</u> |

6. リースにより使用する固定資産に関する注記

(借主側)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額

(単位：千円)

| | 取得価額相当額 | 減価償却累計額相当額 | 期末残高相当額 |
|-----------|---------|------------|---------|
| 工具・器具及び備品 | 164,342 | 53,501 | 110,840 |
| ソフトウェア | 70,943 | 29,329 | 41,613 |
| 合計 | 235,285 | 82,831 | 152,454 |

(2) 未経過リース料期末残高相当額

| | |
|-------|------------------|
| 1 年 内 | 60,515 千円 |
| 1 年 超 | <u>91,938 千円</u> |
| 計 | 152,454 千円 |

7. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 1,537 円 65 銭
(2) 1株当たり当期純利益 100 円 23 銭

8. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

株主優待のご案内

毎年10月20日時点で1,000株以上ご所有の株主各位に対し、下記の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

発行枚数 2枚
発行時期 毎年1月 定時株主総会終結後（報告書に同封してお送りします。）
有効期限 翌年1月20日（当社の休業日の場合は前営業日）まで有効
優待方法 優待券ご持参の方に、当社の最新の総合カタログに掲載されている商品について、次の条件で、表示価格より50%割引させていただきます。

① 優待券1枚につき1回のご利用に限ります。

なお、1回でご購入される商品点数には制限はありません。

② 優待価格でのお取扱いは、優待券1枚につき、カタログ表示価格合計100万円までとします。〔100万円を超えるご購入の場合は、50万円（100万円の50%）を割引きます。〕

株式のご案内

| | |
|---------|---|
| 事業年度 | 10月21日から翌年10月20日まで |
| 基準日 | 定時株主総会の議決権 10月20日 |
| | 期末配当金 10月20日 |
| | 中間配当金 4月20日 |
| 定時株主総会 | 毎年1月 |
| 公告方法 | 電子公告の方法により行います。 http://www.oliverinc.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 単元株式数 | 1,000株 |
| 上場取引所 | 名古屋証券取引所 市場第二部 |
| 証券コード | 7959 |
| 株主名簿管理人 | 東京都港区芝三丁目33番1号（〒105-8574） 中央三井信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 名古屋市中区栄三丁目15番33号（〒460-8685） 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 電話 0120-78-2031（フリーダイヤル） |
| 同取次所 | 中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店 |

（お知らせ）

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は以下の株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

・フリーダイヤル 0120-87-2031（24時間受付：自動音声案内）

・ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

営業所のご案内

(平成20年1月18日現在)

| | | | |
|--------------|---------------|--------------|---------------|
| 本店 | (0564)27-2800 | 静岡支店 | (054)280-1351 |
| 札幌支店 | (011)866-3770 | 名古屋支店 | (052)209-6880 |
| 仙台支店 | (022)288-2881 | 大阪支店 | (06)6228-9230 |
| 北関東支店 | (025)281-0607 | 中四国支店 | (086)805-0530 |
| 東京支店 | (03)5674-9500 | 福岡支店 | (092)473-8030 |

| | | | |
|---------|---------------|--------|---------------|
| 青森営業所 | (017)731-2688 | 三重営業所 | (052)209-6880 |
| 盛岡営業所 | (019)632-7100 | 長野営業所 | (026)243-9687 |
| 郡山営業所 | (024)932-8805 | 金沢営業所 | (076)223-5671 |
| 宇都宮営業所 | (028)637-2881 | 京都営業所 | (075)525-3566 |
| 高崎営業所 | (027)361-1446 | 神戸営業所 | (078)261-3381 |
| つくば営業所 | (029)860-3121 | 岡山営業所 | (086)805-0530 |
| 新潟営業所 | (025)281-0607 | 広島営業所 | (082)294-8090 |
| さいたま営業所 | (048)645-1585 | 高松営業所 | (087)861-1226 |
| 千葉営業所 | (043)247-6122 | 北九州営業所 | (093)963-1432 |
| 立川営業所 | (042)525-9371 | 熊本営業所 | (096)352-2226 |
| 横浜営業所 | (045)231-2001 | 鹿児島営業所 | (099)256-6468 |
| 浜松営業所 | (053)450-7755 | | |

| | | | |
|-------|---------------|-------|---------------|
| 沼津出張所 | (055)981-6615 | 岐阜出張所 | (052)209-6880 |
| 豊橋出張所 | (0532)41-2168 | 松山出張所 | (089)923-1964 |
| 松本出張所 | (0263)26-0381 | 沖縄出張所 | (098)860-2009 |

株式会社 **オリバー**

岡崎本社 愛知県岡崎市藪田一丁目1番地12(〒444-2137)

TEL<0564>27-2800(代表)

東京本社 東京都江戸川区西葛西六丁目27番19号(〒134-0088)

TEL<03>5674-9500(代表)

<http://www.oliverinc.co.jp/>